

下町老人会 ハウキグサの刈り取り

9月20日、竹迫下町老人会の13人が、今年3月に植えたハウキグサ（ハウキギ）の刈り取り作業を行いました。これは草ぼうきの材料で、刈り取り後は乾燥させ、茎や枝を束ねて約450本のぼうきにします。

約25年前、同老人会ではハウキ部会を作り、現在も竹ぼうきや竹馬、ショウケ（ザル）などの制作を続けています。草の高さは2m以上でしたが、参加者の連携と力強い作業であつという間に刈り終わりました。



草ぼうきは11月の文化祭や3月の竹迫初市などに出品します

菊池たばこ販売協同組合 清掃ボランティア

9月17日、菊池たばこ販売協同組合（本田秀昭会長）が、西合志庁舎周辺の県道と市道沿い、ユーパレス弁天周辺の清掃活動を行いました。

残暑の厳しい日差しの下、集まった組合員12人が、2時間かけてたばこの吸い殻やペットボトル・空き缶などのごみ拾いに汗を流しました。美化作業後、ごみが無くなった周辺道路では、沿線の緑が一層美しく見えました。



美化作業に汗を流す組合員の皆さん

「もしも」に備えて 上須屋区で自主防災訓練

8月24日、上須屋学習センターで、区の自主防災訓練が実施されました。住民が大きな災害に円滑に対応できるよう、防災体制の強化と防災意識を高めることを目的としています。

訓練では、大規模地震や集中豪雨による自然災害などを想定し、避難経路の確認や炊き出し訓練、泉ヶ丘消防署員の指導によるダミー人形を使った心肺蘇生法などの救急救命講習が行なわれました。



多くの参加者が救急救命講習などを真剣に学びました

地域に貢献 測友会 清掃ボランティア

8月23日、菊池地域の測量会社からなる測友会の会員20人が、清掃ボランティアを行ないました。

測友会は測量技術などの向上に努める有志の会で、清掃ボランティア活動は、地域住民の住みよい暮らしづくりに貢献しようと平成20年から毎年取り組んでいます。今年は御領にある市道・井出筋線周辺の除草作業を実施。雑草が生い茂っていた道路周辺も、作業後にはすっきりとした美しい景観になりました。



道路周辺をきれいに清掃する測友会の皆さん

地域で世代間交流 中学生の竹ぼうき作り

10月4日、合志中学校3年3組の27人が、竹迫下町老人会ほうき部会の6人を講師に招いて竹ぼうき作りに挑戦しました。これは、中学生に世代間交流や工具を使った物づくりを体験してほしいと保護者らが主催したものです。

始めは受け身の姿勢で習っていた生徒たちも、徐々に身を乗り出して達人の技を学び、慣れない工具を使ってぼうき作りに真剣に取り組みました。



作ったぼうきは中学校に寄付しました

ロボットに夢を乗せて 国際ロボコン日本大会 プレゼン部門で最優秀賞

9月21日、南ヶ丘小学校6年の工藤洸士郎さんと上村俊太郎さん（共に永江団地）が、神奈川県で行なわれた国際ロボット競技会の日本大会（WRO Japan）に出場し、ロボット開発や活動のプロセスを発表するプレゼン部門で最優秀賞を受賞しました。

2人は、「何事にもあきらめずにやると成果がでる」「来年は中学生の部でがんばって世界大会に行きたい」と、ロボット制作を通じて得た熱い思いを語りました。



2人が制作した
ロボット

工藤さん（左）と上村さん（右）

元気に育て ホタルの幼虫を放流

9月16日、竹迫城跡公園北側の東谷川一帯で、合志小学校の4年生27人がホタルの幼虫を放流しました。これは、上庄区が地区魅力化事業の一環として平成22年から合志小学校と共に行なっているものです。

この日は約300匹の幼虫と、その餌となるカワニナを放流しました。子どもたちはホタルが無事成虫になれるか心配しながらも、「大きく育てほしい」と来年の再会を楽しみにしていました。



再会を願ってホタルの幼虫を放流する子どもたち

商工会からペットボトルキャップを寄付

9月16日、市商工会（上林節郎会長）が、児童のボランティア活動を支援する目的で西合志第一小学校と合志小学校にペットボトルキャップ約20万8千個を寄付しました。

これは商工会の社会貢献活動の一環で、会員が集めて持ち寄ったものです。児童の収集したキャップと合わせてNPO法人に送り、ワクチンと交換して貧困に苦しむ世界の子どもたちに届けられます。



皆さんの協力でたくさんのキャップが集まりました